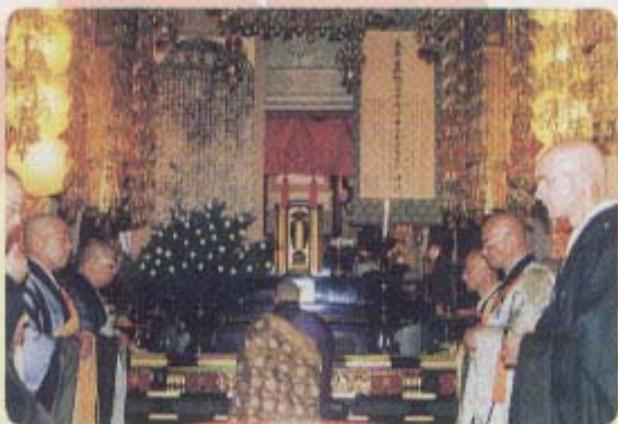


當山檀信徒鈴木真氏に「東園寺の碑」拓本  
を寄贈して頂きました。東園寺の碑は当山  
中興2世龍津恵活和尚により安永5年（1  
776）に建立された石碑で、4代藩主伊  
達綱村公の塩釜に対する功績と、當山中興開  
山曹源祖水和尚の徳を今日に伝えております。  
残念ながらオリジナルは慶應3年塩釜の大  
火で断碑となり、昭和59年精道和尚の代に書写  
本を用いて新碑が建立されていますが、今回  
拓本に接すると、天明2年（1782年）に  
七代藩主重村公が曹源和尚の隠居する当山を



## 東園寺の碑

### 拓本が寄贈される



## ◆第9回◆

精道和尚

## メモリアルスピーチコンテスト

今年もハワイの高校生6名引率者1名が大本山妙心寺、松島瑞巌寺を始め京都宮城県内各地で交流や研修を行いました。7月13日には先住精道和尚の毎歳忌に併せ日本語スピーチコンテストが開催され、参加者は先住を偲ぶ楽しい一時を過ごしました。コンテストはコーリン・ソガ君が優勝。左記は優勝スピーチです。

皆さん今晩は。私の名前はコーリン・ソガです。日本ではゴジラか松井と呼ばれます。家族には妹が3人いて妹の名前はひろこちゃん、ももえちゃん、みなこちゃんです。うちの家は曾祖父さん、お祖父さん、お父さんと皆本願寺のお坊さんです。でも私は得度で髪を剃りたくないのです。お坊さんにはなりません。

日本ではいろんなことを習いました。普通ハワイでは本願寺の日曜学校に行っていますが、いつもお父さんの説教が同じなので、聞き飽きました。多分今は本

願寺より禪のことをもつと知っていると思います。京都や奈良ではいろんなお

寺や大きなお城に行きましたけど、やっぱり一番思い出にあるのが、いろんな食べ物が出た川上先生の禅の精進料理でした。みんなが初めてとろろいもを食べたときの顔がとても可笑しかったです。塩釜に来て次の日、幼稚園に行きました。その日は新しい友達がたくさん出来ました。千坂先生の娘妙恵ちゃんにもありました。千坂先生の娘妙恵ちゃんにもありました。妙恵ちゃんはすごくかわいいです。千坂先生はとても筋肉がたくさんあります。でも私は得度で髪を剃りたくないのです。この間一緒にビリヤードをして負けてしました。さすが日本で一番強いお坊さんですね！ほかに村山先生や瀬戸先生にお世話になつています。



▲スピーチするコーリン君



▲瑞巌寺での坐禅



▲妙心寺様にて

いろんなところにつれてもらつたりしているから、2人とも多分運転はこりこりでしよう。ミロ先生は日本語と英語をどちらも話せて、それに外国人だなんて、もうかっこ良過ぎます。

仙台でお城に行つたのは良かつたけど、政宗のお城が無くなつたのは残念でした。善応寺では習字を星先生から学びました。名前を10回位書きました。とても難しかつたです。僕は日本の侍の剣が好きなので、習字が終わつた後、星先生の剣でたくさん遊びました。最後にちょっと苦い思い出も出来ました。松島の坐禅です。背中を叩かれたとき、僕はこう思いました。本願寺のお坊さんと、禅のお坊さんにだけは絶対になりたくない。

この度は皆様にお世話になつてどうもありがとうございました。私はいつかまた日本に来たいと思います。その機会があつたら、また皆さんに会えればいいですね。



▲花園高校にて

## お世話になった方々

龍雲寺様 春光院様  
自休庵様 花園高校様  
善応寺様  
瑞巖寺専門道場様  
白寿殿様他 檀信徒役員  
(順不同)

左側に大本山妙心寺開基花園法皇を安置することもあります。但しこれは近代に至り制定されたもので絶対に安置しなくてはならないというものではありません。しかし、せつかく脇侍を安置したのに脇侍の前に位牌を安置することは

**仏壇**

仏壇は寺の須彌壇と同様の意味を持つものであり、須彌壇とはインドの宇宙觀において、宇宙の中心に存在し、諸仏の住居とされる須彌山を表現したもので、ですから仏壇とは、あくまで先祖を祀ることよりも本尊を安置することを目的とします。さて今日、臨済宗の本尊はお釈迦様が安置されることが多いのですが、元來は縁のある仏であれば、何でもよいことになつております。いい加減なようですが、臨済宗の場合何よりも自分自身の中にある仏に気づくことを最大の宗教目的としますので、礼拝の対象である本尊は、本師である釈迦牟尼佛に限らず、阿弥陀様でもお薬師さまでも観音さまでも、差し支えありません。さて当然本尊は仏壇の中心に安置されますが、最近は脇侍として向かつて右側に大本山妙心寺開山無相大師(関山恵玄禪師)。

脇侍に対し失礼になりますので気をつけましょう。脇侍を安置しない場合には、本尊の右側を上手として上位の位牌より並べます。先祖代々の位牌が右側に安置され、親子の順番に左へと並べます。(逝去の順番というよりは親子等の世代順が適当であると思います。)当然本尊前には位牌は置きません。故人の命あるいは僧侶を招き、年忌の連夜をするときのみ本尊の正面の一段下に位牌を安置します。



▲洋館やマンションにも似合う、現代的な仏壇

▲一般的な仏壇の肆り方



現在の本堂

## 本堂修繕事業報告



5月28日の地震によりできた亀裂



5月28日の地震では本堂正面の  
再塗装部分に亀裂と剥落が生じた。



降り棟の破損

前号で本堂の修繕事業が近い将来行われるとお伝えしましたが、この5月28日、7月26日、そして現在に至るまでの頻発する地震と、震源地に近い寺院の被害状況、また宮城県沖級の大地震が30年以内に確実に起こるであろうと報道される現状をふまえると、本年築72年を迎えた当山の本堂の修繕は、もはや一刻の余も許されぬ状況の下にあると思われます。

そこで予定を若干早め来春の大回向以降にも修繕に着手致します。檀信徒各位におかれましては修繕期間中本堂の使用に制限が出来ることが予想されますので、何卒ご了承賜りますよう懇願申し上げます。また本堂の修繕に關し、清水建設により耐震調査及び地盤調査が実施され、修繕の提案がなされましたので、ここにご報告いたします。尚去る6月19日の総代世話人合同会議で修繕計画については住職、責任役員に一任。修繕費用については、借入金と積立金を充當することが、住職より提案され満場一致で承認されました。

## 提案書

## 東園寺本堂修繕

## 清水建設による修繕提案書

○構 造 鉄筋コンクリート造 地下1階地上1階建屋根は鉄骨造

○規 模 身舎 56坪 向坪5.3坪

○竣工年月 昭和6年12月 施工業者 木田組

○現 況 東園寺本堂は昭和6年に建立され、72年が経過している。

その間に支持地盤の変化、沈下等が推定されると共に、地震などの影響などで、本堂の傾き、コンクリートの劣化現象が随所に見られる。今回の調査では現在の本堂を続けて使用することを前提に下記の項目について調査検討を行った

- (1)建物の傾きについて (2)建物の耐震性について (3)屋根の瓦について
- (4)外壁について (5)小屋根の鉄骨について

## (1)建物の傾きについて

- ・南西方向に最大27cmの沈下が見られる。ただし平成6年12月の測定結果をふまえると、この10年の沈下の進行は無いと判断された。
- ・ボーリング検査の結果粘土層の圧密沈下が主な原因と予想される。おそらく本堂竣工後数年で沈下が進み、その後徐々に収束に向かい、この10年での沈下は無いと思わせる。

## ○対 策

- ・対策としては現在の傾きを水平に戻し、固定することが望ましいが、その為には本堂の基礎をすべて洗い出して、沈下している基礎をジャッキアップし、固定し直す大掛かりな工事となり、現実的には難しいものと考えられる。そこで次善の案として、高圧噴射攪拌セメント改良法（高圧で粘性土を攪拌して排出し、セメントミルクに置き換える。）を提案する。地下1階での作業となり、重機の使用的スペースを確保する為、地下教化センターの内装はすべて撤去することになる。

## (2)建物の耐震性について

- ・壁の配置が北側（本堂後側）に偏り、壁量が不足している。耐震診断法の判定では基準値を満たすものの、コンクリート強度にはばらつきが見られるから、耐震壁の増設が望まれる。

## (3)屋根の瓦について

- ・屋根の下地は鉄筋の母屋の上にラスシートを張りモルタル塗りとなっており、防水の機能を果たしてきた。平瓦の一部には凍害などにより、ひびや破損が生じているが、下地モルタルやラスシートにより漏水を免れてきたと考えられる。
- ・大棟、降り棟などの役物の瓦は固定の役割を果たすべきモルタルが劣化し、銅線のみで現状を維持しているものと推測される。

## ○対 策

- ・以上より屋根は全面葺き替えの時期であると考えられる。現在の瓦は昭和初期のものよりも軽く、現状の75%の重量になり、耐震性も向上する。また銅板葺きにすればさらに屋根の軽量化が実現される。ただし現在の下地モルタルの上に新たに母屋垂木野地板が必要となり、屋根が現在よりも厚くなる。

## (4)外壁について

- ・外壁にひび割れが散見、コンクリートとモルタルの間に隙間が出来ている部分もある。

## ○対 策

- ・コンクリートのひび割れの部分にエポキシ樹脂を注入、モルタルの浮きにはステンレスのアンカービンにて固定、さらにエポキシを注入して剥落を防ぐ、また補修痕を隠すために塗装替えが必要となる。

## (5)小屋根について

- ・小屋裏の鉄骨には表面に錆が見られる。

## ○対 策

- ・緊急性の無いもののこの5年位の時期にケレンし、錆止め処理を行うべきであろう。銅板で葺き替える場合小屋根での工事は必要となる為、今回の工事で防錆を実施する。

○費 用 瓦葺替えの場合-59,120,000円 銅板葺替えの場合-73,020,000円

○工 期 瓦葺-約3ヶ月 銅板-約6ヶ月

# 幼稚園だより

塩釜中央幼稚園  
塩釜第二中央幼稚園



七夕まつり



遠足

ファミリー  
コンサート

盆踊り



プール遊び（年長）



楽しい給食

## 平成16年度 塩釜中央幼稚園 入園案内 塩釜第二中央幼稚園

### 【教育方針】

本園は学校教育法第77条・幼稚園教育要領に基づいて、仏教精神による明るい環境の中で報恩感謝を基とし、団体生活における正しい習慣や能力が身につくよう助長し、豊かな心が育めることを念願し保育を行います。

戒（かい） きまりを守り、正しい人になろう。

定（じょう） どんなことにも一生懸命とりくもう。

慧（え） みんなと仲良くできる智慧を身につけよう。

### 【募集要領】

(1) 入園資格 …… 満3歳児 (3年保育)の幼児  
(平成12年4月2日から平成13年4月1日生)

満4歳児 (2年保育)の幼児

(平成11年4月2日から平成12年4月1日生)

満5歳児 (1年保育)の幼児

(平成10年4月2日から平成11年4月1日生)

(2) 募集人員 …… 満3歳児 塩釜中央幼稚園 35名  
満4歳児 塩釜第二中央幼稚園 50名

満5歳児 塩釜中央幼稚園 80名

塩釜第二中央幼稚園 65名

満3歳児 塩釜中央幼稚園 若干名

(3) 保育時間 …… 月曜日～金曜日 登園8時30分から・降園13時30分から



## これからの行事



大運動会

いも掘り遠足



もちつき



お遊戯会



お店屋さんごっこ

節 分

- (4) 入園手続 ..... 入園申込金3,000円と入園願書を添えて提出し面接表を受け取ること。
- (5) 入園選考 ..... 地域・スクールバスの定員などを考慮し、書類選考と面接選考により、中央幼稚園及び第二中央幼稚園の入園を決定します。
- (6) スクールバス ..... 希望者には園児送迎バスを運行します。
- (7) 給 食 ..... 午前保育以外は完全給食を行います。
- (8) 体育教室 ..... 専門指導員による体育指導を行います。  
◎年長：アシストスマミングスクール  
◎年中・年少：専門の指導員による室内運動
- (9) パソコン遊び ..... ウィンドウズソフトを利用して子供達がパソコン遊びを行います。又、テレビ会議システムにより、中央幼と第二中央幼との園児がネットワークで一緒に遊ぶことができます。
- (10) 預かり保育 ..... 保育終了後及び長期休業期間中（春・夏・冬）、預かり保育を行います。  
時 間 月曜日から金曜日まで 8時15分～18時00分  
土曜日(長期休業日を除く) 8時15分～13時00分  
預かり保育料 月単位の場合 8,000円(月曜日から金曜日)  
1日の場合 700円(月曜日から金曜日)  
※土曜日の預かり保育料は、月単位の場合でも、月の預かり保育とは別に1回に付き850円納入して頂きます。  
※預かり保育終了後のスクールバスの運行はありません。  
※おやつは幼稚園で用意します。  
※幼稚園が休みの場合 預かり保育は行いません。  
※預かり保育についての詳しい内容は別紙に掲載しております。



▲大回向 布教師静岡龍梅寺住職



▲聖和学園舞踊部（花まつりの夕）



▲▲参道の子どもたちの絵が飾られています。企画担当一瀬戸執事



▲○×クイズ（花まつりの夕）



▲新規墓地と北参道

問題

「志賀直哉さんはだるま落としが得意である。」



▲選挙直前にだるま落としをする志賀氏

## 墓 地 情 報

### 本堂裏に新規墓地

●東園寺では唯一の段差無しでお参りしていただける墓地です。

**永代使用冥加金 70万円** (基礎工事は施工済み)

\*※23基中9基は契約済みです。ご希望の方はお早めにお申し込みください。分割払いも可能です。

●山頂付近にも10箇所以上の墓地ございます。

**永代使用冥加金 35万円より** (納骨基礎付)

### ◆みんなのお墓ー駄子塔◆

・仏教徒であれば誰でも納骨できる。

(他寺で葬儀をされた方も納骨できます)

墓地を建てる必要がない。墓地建立、墓地取得に比べて費用がかからない。

・歴代住職の墓地も兼ねているので、寺が存在する限り永代供養される

・配偶者が無い場合には維持費も不要。

(配偶者が居られる場合には配偶者存命期間のみ維持費年間5,000円が必要です。)

宗教法人 東園寺 〒985-0026 塩釜市旭町4-1

学校法人 東園寺学園 〒985-0012 塩釜市芦畔町13-51

代表役員 千坂 成也 理事長 千坂 秀也 花園会・会長 阿部 久壽

022(362)0777 寺務所

022(362)8651 中央幼稚園

022(365)5616 第二中央幼稚園

022(364)4444 FAX

022(356)2933 ザ・ゼンクラブ